

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
2		
○必修 学校必修 必修選択 自由選択	岡田信昭 山本繁晴	最新現代社会（教育出版） 最新現代社会資料集2016（第一学習社）

## ◆学習の目標

- ・現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解する。
- ・現代社会の諸課題を主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある市民として必要な能力と態度を育成する。
- ・表現やコミュニケーション、課題解決の力を養う。

## ◆主な学習内容・方法

- (1) 教科書、資料集を活用しながら、主に講義形式で学習する。
- (2) 授業内容に応じてグループ討論、調査・発表、ディベートなど行う。
- (3) 株式ゲームや貿易ゲームなどの参加型学習に取り組む。
- (4) 3分間スピーチなどを行い、新聞や時事問題に関心をもつ。

## ◆到達目標と評価の観点

- 〔標準〕 現代社会についての興味・関心を高めるための基礎的事項を十分に理解する。  
 〔応用〕 現代社会の課題について、人間としての在り方生き方をふまえて考察を深め、思考力・表現力を高める。  
 〔評価の観点〕 人間の幸福、社会の正義および公正という観点から、知識・理解を深め、思考力・表現力が身に付いたかについて評価する。

## ◆評価の方法

- ・現代社会の基礎的事項を十分に理解したか、思考力・表現力が身に付いたかなどを主に定期考査や通常の授業への取り組み、姿勢などにより総合的に評価する。特に思考力・表現力については発表学習の発表や取り組み状況を通して評価する。

## ◆年間予定授業時間

予定時数	70時間	1学期（26時間）	2学期（28時間）	3学期（16時間）
------	------	-----------	-----------	-----------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- ・予習として、新聞などを読み時事的な問題にふれ、現代社会に対する関心を高める。
- ・復習として、学習のまとめで行うセンター試験の過去問に取り組む。
- ・学習したことと現代の課題を結びつけて考え、現代社会についての理解を深める。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元毎の時数	学習の内容	注意すべきこと
1 学期	4	○青年期と現代社会 ・現代の社会 ・青年期の意義課題 ・適応と欲求不満 ・生き方の思想	8	以下の項目に関して理解を深め、説明できるようにする ・大衆社会・高齢社会・情報社会 ・「青年期」の意義と課題 ・哲学的思考・科学的思考の歴史 ・宗教と人々の生活 ・民主主義の発展及び諸原則 ・世界の主な政治体制について ・日本国憲法と基本的人権の基礎事項と具体的な課題 ・国会・内閣・裁判所の働きと、具体的な課題 ・地方自治、政党政治と選挙、行政権の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の意見や発想を利用しながら授業を展開する。</li> <li>・抽象的な議論を避ける。</li> <li>・今後の学習の基礎となるように、暗記にならず、背景についての理解も深める。</li> <li>・民主主義の精神について確認する。</li> <li>・様々な見方があることに注意する。</li> </ul>
	5	・宗教を考える	10		
	6	○人権保障の原理と日本国憲法 ・法の支配 ・日本国憲法の人権保障			
	7	○政治と日本国憲法 ・民主政治の原理 ・政治の仕組み			
2 学期	8	・民主社会の倫理 ・平和主義と憲法	14	以下の項目に関して理解を深め、説明できるようにする ・日本の平和主義と日本国憲法についての知識と現代的課題 ・経済社会の発展を踏まえながら経済とは何かについて ・市場機構の働き、市場の限界と政府の役割について ・財政の役割と諸問題について ・現代経済における金融の意義と役割について ・GDP等の概念の理解 ・国際政治の特徴 ・国際政治の変化 ・国際連合の役割と変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現実の日本政治の動向を踏まえる。</li> <li>・自由の意義の思考を深める。</li> <li>・需要曲線と供給曲線、経済的な合理性を考える。</li> <li>・不良債権、国債発行などを現実問題と関わらせる。</li> <li>・税のあり方などを関連させる。</li> <li>・豊かさについて考えさせる。</li> </ul>
	9	○現代の経済と活動 ・経済社会の歩み ・市場経済の働き ・経済成長と景気			
	10	・政府の役割と財政 ・金融機関の役割 ・国民経済と豊かさ			
	11	○現代の国際社会と日本の役割 ・国際政治の特徴 ・国際政治の変化 ・国際連合の役割と			
3 学期	1	○現代の国際経済 ・国際分業 ・為替の仕組み ・戦後国際経済 ・現代の経済体制	16	以下の項目に関して理解を深め、説明できるようにする ・国際分業と貿易の必要性 ・貿易を円滑にするための工夫 ・為替の意義と課題 ・戦後国際経済体制の課題 ・T P Pの仕組みと課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚教材で具体的に理解する。</li> <li>・経済を具体的に考える。</li> <li>・まとめとして、ディベートなどによって課題について深めることもある。</li> </ul>
	2				
	3				